



整形外科新シリーズ

第1回

北アルプス医療センターあづみ病院 整形外科医長

肩関節治療センター 松葉 友幸

今月より、肩関節疾患について1年間投稿させて頂きます。肩関節治療センターの松葉友幸と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

肩とは体のどこ部位を指すのでしょうか？

肩こりがひどいなど首の横の僧帽筋（首から腕にかけてなだらかなところ）を指します、肩が脱臼したなどと肩甲骨と腕の間の動くところを指します。

一般的には首と体から腕につながる部位が肩と考えられます、正確には肩関節（肩甲骨の受け皿と上腕骨がつながる関節）と肩甲帶（肩甲骨と鎖骨周囲）の全部と考えられています。

肩は動物の4足歩行から人間の2足歩行になるにあたり最も進化した部位の一

つです。4足歩行の時は前足も体重を受けるために足の関節のようにしっかりしていました。

それに対して肩は、骨で支持されるのは鎖骨を介して胸の中心の胸骨とわずかにながっているのみです（図2）。その他は靭帯と筋肉によって支えられているのでとても不安定な状態であり、良く動かせる状態

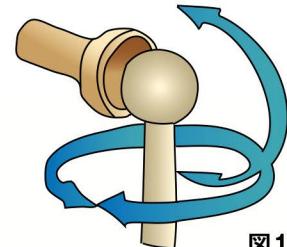


図1

2足歩行となり手を様々な方向に動かすために肩周辺は大きく進化しました。

肩関節は球関節と言われ、肘や膝と異なり色々な方向に動かすことができるので（図1）。

多方向に動かすことができる関節ということは逆に不安定な関節ともいいうことができます。

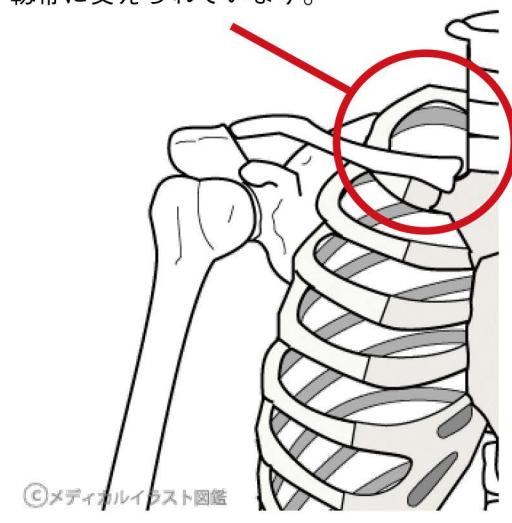
体の中で大事な頭や内蔵は骨で守ら

れており、歩行するための足の関節は骨と骨が合わさせて体重を支えるなど、骨で支えられると丈夫になり、あまり大きく動かせなくなります。

になっています。肩の運動に関与する関節は肩甲上腕関節、肩鎖関節、胸鎖関節の3個、筋肉は全部で17個もあり、すべてが上手く作用することによって正常に動作しています。そのどこかに異常ができると痛みの原因となり、機能異常が出てきます。複雑なところであり、面白い関節です。

次回からはどのような病気があるのか、その病態、治療などについて紹介させて頂きます。

体と腕が骨でつながっているのはここだけです。その他は筋肉と靭帯に支えられています。



©メディカルイラスト図鑑